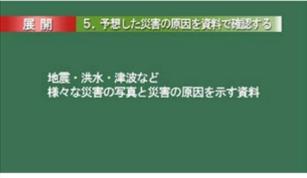
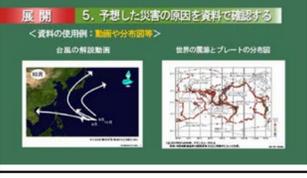
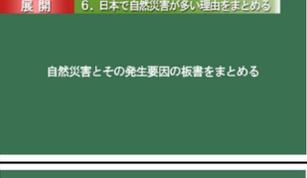
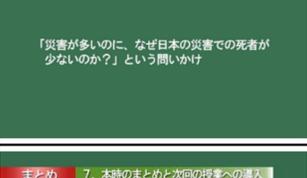


No.	時間	映像内容	ナレーション
1	0:00:00	小学5年生 社会 小単元「自然災害を防ぐ」	
2	0:00:08	目的 防災教育の授業の流れと使用する教材を理解する (小学5年生社会 小単元「自然災害を防ぐ」)	この動画では、小学生 社会「自然災害を防ぐ」での実際の授業を例に、防災教育の授業の進め方をご紹介します
3	0:00:21	動画の構成 ● 全体の授業計画と今回例とする授業の位置づけについて ● 本授業の構成 ● 授業の進め方と各シーンで使用する教材の使用例 ● 防災教育ポータル説明	この動画の流れは次の通りです 今回例とする授業の位置づけと授業の構成を確認した後 実際の授業の進め方と各シーンで使用する教材の使用例を紹介する流れです
4	0:00:39	● 今回例とする授業の位置づけについて 小単元「自然災害を防ぐ」の導入となる第1時を今回例とします	今回例とする授業は、全4時間で構成される小単元「自然災害を防ぐ」の導入部分である、第1時「自然災害の多い日本」です
5	0:00:54	● 本授業の構成 【導入】 10分 ・日本で起こっている様々な自然災害の怖さを知らせる 【展開】 30分 ・日本で様々な自然災害が発生する理由を気づかせる ・様々な自然災害が考えられていた理由を失印で関連付けて、紙書を確認していく 【まとめ】 30分 ・日本は自然災害が多い国であるにもかかわらず、こわなくなった人の割合が少ない理由を考えさせる	本授業の構成は次の通りです 授業の指導計画を基に、【導入】・【展開】・【まとめ】の順に内容をみていきましょう
6	0:01:09	導入 1. 自然災害とは ① 最近ニュースで災害の話はないか考える	導入では最近災害があった地域の話にふれ、児童からどんな災害があったかについて意見を挙げさせます
7	0:01:19	導入 1. 自然災害とは <資料の使用例：発問計画> 先生：最近日本ではどのような自然災害が起きているでしょうか？ 先生：そうですね、それでは大抵以外にどんな自然災害があるでしょうか？ 先生：災害の発生にはなぜ季節によって異なる自然災害の写真を見せながら、 先生：日本は自然災害が多い国であるにもかかわらず、こわなくなった人の割合が少ない理由をどう考えますか？ 先生：今日は、これからの授業で自然災害の怖さについて勉強していくのが学習課題を作りましょう	この時参考とする資料は、発問計画です 児童にどのような質問を投げかけるか、児童からどのような回答を得る想定であるかの参考となります
8	0:01:35	導入 1. 自然災害とは ② 自然災害にはどのような種類があるか考える	次に、自然災害にはどのような種類があるかについて児童に考えさせます この時、先生は災害の恐ろしさに気付かせる働きかけをします
9	0:01:49	導入 1. 自然災害とは <資料の使用例：地震・洪水・津波など様々な災害の写真>	この時、参考に挙げた地震・洪水・津波など様々な災害の写真を黒板に貼りつけていきます
10	0:02:00	導入 2. 授業のめあての設定 <めあて> なぜ日本では自然災害が起こりやすいのだろう	めあてを確認し、 これからの授業の内容が自然災害の何について学ぶのかをイメージさせ、興味をもたせます
11	0:2:12	展開 3. 世界と日本の違い 世界中で発生している自然災害件数及び日本で発生している災害件数の比較	めあてを基に 世界と日本の災害の発生状況の違いを説明していきます
12	0:02:21	展開 3. 世界と日本の違い <資料の使用例：円グラフ等> 世界全体における日本の自然災害の割合 世界で起きている災害件数の内、日本の発生件数	この時、世界で起こる自然災害の発生状況について、国土が狭い日本での発生件数が多いことを比較資料で教えます
13	0:02:34	展開 4. 日本で自然災害が多い理由 日本で自然災害が多い理由について児童に予想させ、ノート(ワークシート)にまとめ発表させる	日本で自然災害が多い理由について、5分の制限時間を設ける中で、児童それぞれに予想をさせ、その内容をノートにまとめた後発表させます
14	0:02:49	展開 4. 日本で自然災害が多い理由 <資料の使用例：世界における日本の降水量等の統計資料> 日本の国土の地形の割合 日本と世界の平均気温(12月)の比較 日本と世界の平均降水量(12月)の比較	児童から災害発生の理由が出てこなくなったら、降水量が多いことを題材として提示するなどして、気づきを促す働きかけをします

No.	時間	映像内容	ナレーション
15	0:03:01		児童の発表に関する写真や資料を見せながら、それらが原因で引き起こされる災害を考えます 例えば、海に囲まれていると津波に遭いやすい等です
16	0:03:16		また、「世界で起こっている地震の分布」を示す動画や地震の発生件数が多いことを示すデータを基に日本がいかに地震の多い国かを説明します
17	0:03:31		ここまでに出てきた自然災害の写真とその発生要因を示す資料を関連付けて板書を整理し災害と発生原因との関係性を理解させます
18	0:03:45		ここでは、先程使用していた資料について、板書計画を参考に、様々な自然災害と発生原因との関係を整理していきます
19	0:03:59		まとめでは、日本で自然災害が多いことについてまとめた後、「災害が多いのに、なぜ日本の災害での死者が少ないのか？」という問いを投げかけ、自分の考えをノートにまとめさせます
20	0:04:16		その際、日本と世界との比較データをモニターで表示する等して、災害の多い日本で死者数が比較的少ないことを確認しその理由を考えさせます
21	0:04:31		災害が多いのに関わらず死者が少ないことから、備えの存在に気付かせ「誰がどんな備えをしているのだろうか」という学習課題を立て、次回の授業へつなげるようにして授業を締めくくります
22	0:04:48		いかがだったでしょうか、国土交通省 防災教育ポータルでは今回ご覧いただいたような、授業の事例で使用された各種資料は教材集ページ
23	0:05:04		授業に活用できる様々な資料は素材ページ
24	0:05:09		防災教育の手引きとなる資料は手引きページ
25	0:05:15		最新の取り組み等はトピックスから閲覧いただけます
26	0:05:21		他にも、防災教育ポータルでは防災教育を行う際に参考となる資料を多数掲載していますぜひご活用ください